

令和4年度科学研究費助成事業「新学術領域研究（研究領域提案型）」に係る事後評価結果

領域番号	2903	領域略称名	ソフトクリスタル
研究領域名	ソフトクリスタル：高秩序で柔軟な応答系の学理と光機能		
領域代表者名 (所属等)	加藤 昌子 (関西学院大学・生命環境学部・教授)		

(評価結果)

A (研究領域の設定目的に照らして、期待どおりの成果があった)

(評価結果の所見)

本研究領域は、弱い外部刺激により構造変化が容易に生じる秩序ある結晶構造をとる物質をソフトクリスタルと定義し、その原理の理解、学理の解明及び新機能を創出することを目的としている。種々の多彩な材料が創出され、日本発である「ソフトクリスタル」の概念及び定義付けを明確化・深化させるとともに海外にまで広めた点、系統的に整理した点が高く評価され、研究領域の設定目的に照らして、期待通りの成果があったものと認められる。メカノケミストリーなどの想定を超えた顕著な成果も得られていることに加え、多彩な材料について非常に多くの原著論文が発表されている点は特筆すべき点である。

また、領域運営においては、領域内共同研究による学術誌発表が86報あるなど研究領域内での連携が非常に円滑に進んだ点や、海外派遣や国際共同研究を通じた若手研究者の育成を通じてキャリアアップの良い土壌を育んだ点などが評価される。今後は、ソフトクリスタルについての空間的な素要素などの定量的な理解や更なる体系化に向けた一層の発展が期待される。